

関西大学 高槻ミューズ キャンパス 様

取材撮影ご協力:
関西大学 管財局 様

コージェネ排熱を熱源に有効活用する「ジェネリンク」を採用し地域社会と共生するエコキャンパス

駅前の好立地を活かし、初等部から大学院までの一貫教育を実現。
地域解放でまちづくりにも寄与する
社会貢献型都市キャンパス。

関西大学高槻ミューズキャンパス様は、JR高槻駅北東部の「MUSEたかつき」地区の開発に先立ち、2010年4月に開校されました。
大阪から京都の中間の駅前という好立地にあり、日本初となる社会安全学部や、初等部から大学院までの一貫教育など、特色あるカリキュラムで運営されています。

- 所在地 大阪府高槻市白梅町7-1
- 開設 2010年4月
- 敷地面積 17,454m²
- 規模 地上13階建(西館・東館)、地上4階建(北館)
- 延床面積 53,034m²
- 基準冷暖房供給時間
ジェネリンク年間540時間、吸収式年間880時間



また、地域に開放された施設を備え、高槻市の提唱する「安全・安心なまちづくり」に寄与する、地域との一体化をめざしたキャンパス作りが行われています。



▲ミュージズホール

▲CALL教室

関西大学 高槻ミューズキャンパス施設概要

関西大学高槻ミューズキャンパス様は、初等部・中等部・高等部のある東館、大学・大学院のある西館、武道場・プールなどのある北館の3棟で構成されています。
一般の方も利用できるレストランや児童図書館、さらに防災対応設備など、世代を超えた交流拠点としての機能を果たしています。



▲レストラン「ミューズ」

▲児童図書館

▲防災用品備蓄倉庫

排熱の有効利用で、キャンパス全体の快適空調と環境対応を両立



空調は、排熱投入型ガス吸収冷温水機(ジェネリンク)とガス吸収冷温水機、また施設の特性に合わせパッケージエアコンも設置。
ジェネリンクにはコージェネレーション設備から排熱が投入され、エネルギーの有効活用による省エネを推進し、環境負荷低減に貢献しています。

- 納入機器 排熱投入型ガス吸収冷温水機 BUWL-WE300FGP×2台
吸収冷温水機 BUW-PE280FGPL×1台
パッケージエアコン(ビル用マルチ)
SPW-CHDXP280BN×1台、SPW-CHXP160BN×4台、SPW-WXP900BN×2台
他、パッケージエアコン各種室内機78台、エアコン
- 用途 全館の冷暖房(東館1～13階、西館東館1～13階、北館1～4階)
- 納期 2010年2月
- 担当 近畿支店ビルシステムグループビルシステム第3チーム



個別空調にも当社のパッケージエアコンが活躍。

当社の厨房機器も多数ご採用いただいています。



高槻ミューズキャンパス様の環境貢献・省エネ施策

コージェネレーションシステムの採用や、空調熱源への排熱利用の他にも、高槻ミューズキャンパス様では太陽光発電・風力発電・屋上緑化・雨水利用設備等の取り組みにより、「大阪府建築物環境配慮評価システム」において最高ランクSを達成されています。
またBEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)で省エネを推進し、検証ではエネルギー消費量、CO₂排出量共に18.6%の削減と算定されています。